

放射能に汚染された

ガレキを燃やす焼却場はどこですか？



☆大阪府や市に抗議の声を届けましょう！

橋下大阪市長は、がれきの受け入れを表明しています。今年度は約6100トン、来年度は約3万トンを受け入れ、大阪湾の人工島・舞洲まいしまにある焼却場で11月に100トンを試験焼却し、2月から本格的な受け入れを始めるそうです。濃縮されたセシウムや有害化学物質を含む焼却灰は、瀬戸内海に通じる大阪湾の夢洲ゆめしま処分場に埋められます。フェニックス管理委員会委員長でもある松井大阪府知事は、尼崎沖や泉大津沖の処分場でも受け入れる体制を整えるよう、水溶性のセシウムを心配し慎重姿勢のフェニックスの各現場事務所や所在地自治体に「強く要請」しています。

またTV番組で、「(県の試算で)がれき量は大幅に減り、広域処理は不要な状況」と、被災県独自の処理案として国に防潮堤構想を提示していることについて聞かれた細野環境大臣は「瓦礫には6価クロムやヒ素が入っていて危険なので埋められない」と否定的な意見。埋められないほど危険なのに、大阪市内で燃やそうとは？！

※6価クロムは特別管理廃棄物、一般焼却炉で燃やすことは法律で禁止されています！津波で工場廃水を被った岩手の瓦礫からは6価クロムが検出、ヒ素はシロアリ対策に使われています。

また阪神大震災で処理を担当した職員が、今になってアスベストによる中皮腫を発症！瓦礫はダイオキシン対策用のバグフィルターしかついていない一般焼却場で燃やしてはいけません！

大阪市施設管理課 TEL: 06-6-3361 FAX: 06-6630-3582

関西広域連合総務課 TEL: 06-4803-5668 FAX: 06-6445-8540

大阪府 06-6210-9562 フェニックス TEL: 06-6204-1721

☆すぐお隣、尼崎市長には応援の声を！

「稲村市長がガレキの試験焼却の再考を表明したことを支持します」

「このまま受け入れない方針を表明してください」

「そもそも現地のガレキは、再試算の結果、広域処理に回す必要がないことが判明しています」「ガレキを焼却したり、灰を埋め立てると、大気中や瀬戸内海に放射能が漏れて拡散します」

「原発事故以前の法律を曲げて尼崎沖に焼却灰の受け入れを迫る関西広域連合やフェニックス管理委員会の圧力に負けないで、大阪湾や瀬戸内の環境を守ってください」

尼崎市長室(秘書課) TEL : 06-6489-6008 FAX06-6489-6009

尼崎市資源循環課 TEL : 06-6409-1341 FAX06-6409-1277

